

山口徳地で満天の星空をみよう！

冬

下の星図の円の中心が頭の真上“天頂”にあたります。自分の立っている場所での東西南北の方向と図の方位を一致させ、頭上にかざし実際の星空と見くらべます。冬の夜空は、空気が冷たくさえわたるため、明るい一等星が7つもかがやき、一年でもっとも星が美しく見えます。

まずは、オリオン座を見つけましょう。ななめ一列に並んだ三つ星をはさみ、赤い一等星ベテルギウスと青白い一等星リゲルが輝き、鼓(つづみ)の形をしているのが特徴です。これを手がかりにして他の星座や星の位置の見当をつけることができます。

また、日が暮れてしばらくは、西の空に秋の星座を見ることができます。

この星図は、

12月1日午後11時頃

1月1日午後9時頃

2月1日午後7時頃

の星空のようすです。

月と惑星は日によって位置が移動するため表記を省略しています。



M45 プレアデス星団 (すばる)



M42 オリオン座大星雲

